

授業科目名 <英訳>	現代史概論 ナチズムを中心に Introduction to Modern History: focus on National Socialism			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 藤原 辰史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講年度・ 開講期	2018・前期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】							
<p>まず、現代史の捉え方を受講生とともに考える。時代区分、ジャンルなどさまざまな視角から現代史に光をあてる。</p> <p>そのあと、現代史の問題をナチスを中心に考える。第一次世界大戦を起点として始まる「現代」は、ドイツにおけるナチズムの歴史のなかで、その矛盾を爆発させたといえる。大衆操作、大量殺戮、生の管理、など、ナチズムを特徴付ける諸現象は、まさに現代の典型的な諸現象である。つまり、ナチズムをみつめることは、現代史の深層をみつめることであり、いま、私たちが生きている時代をみつめることでもある。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・現代史について考える枠組みを構築する。 ・現代史の大まかな流れを知る。 ・ナチズムについて基本的な事実を知る。 							
【授業計画と内容】							
<ol style="list-style-type: none"> 1 「現代」とはなにか 2 現代史の概観 3 第一次世界大戦：飢え 4 第一次世界大戦：民衆 5 ナチスのかたち 6 ヒトラーについて 7 ゲッベルスについて 8 ナチスの収穫感謝祭 9 ナチスの文化：絵画を中心に 10 台所からみたナチス 11 食と農からみたナチス 12 暴力の問題 13 アウシュヴィッツ 14 まとめ：ナチズムとは、現代とは <p>フィードバック方法は別途連絡します。</p>							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点及び達成度】							
学期末のレポート							
----- 現代史概論 ナチズムを中心に(2)へ続く -----							

現代史概論 ナチズムを中心に(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

エリック・ホブズボーム 『20世紀の歴史』(三省堂)

木畑洋一 『20世紀の歴史』(岩波書店) ISBN:978-4004314998

[授業外学習(予習・復習)等]

講義中に勧めた本を読む。

[その他(オフィスアワー等)]